



# 教育支援センターだより

11月号 令和5年度 第8号  
令和5年 11月17日発行(通算164号)

花かおり  
緑あふれ  
人輝くまち  
こうのす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業
- 家庭地域連携事業

鴻巣市立教育支援センター  
〒365-0004 鴻巣市関新田1281番地1  
TEL 048-569-3181  
FAX 048-569-1773

## わたしの願い

就学支援相談員 小林 三智雄



わたしは しゃべれない 歩けない  
口が うまく うごかない  
手も 足も 自今の思ったとおり うごいてくれない  
一番 つらいのは しゃべれないこと  
言いたいことは 自今の中に たくさんある  
でも うまく 伝えることができない  
先生やお母さんに 文字盤を 指でさしながら  
ちよとずつ 文ができあがっていく感じ  
自今の 言いたかったことが やつと 言葉になつていく  
神様が 1日だけ 魔法をかけて  
しゃべれるようにしてくれたら…  
家族と いっぱい おしゃべりしたい  
学校から帰る車をおりて お母さんに  
「ただいまー」って言う  
「わたし、しゃべれるよー」って言う  
お母さん びっくりして 腰を ぬかすだろうな  
お父さんとお兄ちゃんに 電話して  
「琴音だよ！ 早く、帰ってきてよ」って言う  
2人とも とんで帰ってくるかな  
家族みんなが そろつたら みんなで ゲームをしながら  
おしゃべりしたい  
お母さんだけは ゲームがへたやから 負けるやろうな  
「まあ、まあ、元氣出して」って わたしが言う  
魔法が とける前に  
家族みんなに 「おやすみ」って言う  
それで じゅうぶん



これは2013年、ある新聞に掲載されたエッセーです。作者は当時小学校6年生だった森 琴音(ことね)さん。琴音さんは3歳のとき、事故で心肺停止となり、一命は取り留めたものの、低酸素脳症の後遺症で下半身は麻痺し、声は出ても言葉を発することができなくなってしまいました。

琴音さんは通常学級に在籍していましたが、手を動かすのにも時間がかかるため、一部の授業は特別支援学級で受けていました。発言する際は、机上のひらがなの文字盤を指して行います。一緒に学んでいる肢体不自由の障がいのある友だちが書いた、「一人で歩きたい、一人でご飯を食べたい、一人で字を書きたい」との詩を読んで「わたしも同じ」と文字盤を指しました。特別支援学級の先生が「こっちゃんは何がしたいの」と尋ねると、「しゃべりたい」…そこから二人のやりとりが始まり、時間をかけて書き上げられました。

完成したエッセーに琴音さんが付けたタイトル、それが表題「わたしの願い」です。「言葉を失った琴音の思いを初めて知った。」これを読んだ家族は涙が止まらなかったそうです。私はこの文章に触れる度に心の奥底が優しく揺さぶられ、胸が熱くなるのを抑えられなくなります。家族の温もりやごくありふれた日常の幸せがいかに尊いものであるか、琴音さんのエッセーが私たちに語りかけている気がします。



教育支援センターでは、小学校への円滑な接続に向けて就学相談を行っています。小学校の6年間は将来自立していくための大事な準備期間です。幼稚園や保育所等関係諸機関と連携し、保護者やお子さんを支援する態勢づくりに努めるとともに、より成長、自立していけるような支援方法を提案しております。小学校への円滑な接続に向けて、保護者の思いや願いを受け止めながら応援してまいります。

## 10月の相談状況 451件

相談内訳	R5. 10月	R5. 9月
相談員等の学校等への訪問	253	114
電話	100	115
相談者来所	98	83
主な相談者別内訳		
未就学児	193	25
小学生保護者	60	48
小学生	56	44
小・中教職員	39	55
年長児保護者	29	42
主な相談内容		
性格・行動	192	58
不登校	90	100
就学	66	40
特別支援	54	57

**防災訓練** 10/31 (火)

教育支援センター、高齢者福祉センター(ひまわり荘)、川里図書館、鴻巣市観光協会が、合同で避難と消火の訓練を行いました。

## シリーズ 0歳～15歳までの一貫した教育の推進 特別支援学級

特別支援学級は、学習や日常生活に困りごとを抱えている児童生徒に対し、担任を中心としてきめ細かな支援を行っています。各学級は障がいの種別に応じて8人以下の少人数で編制され、異なる学年が共に学びます。学習内容は、社会生活への適応を図るために「自立活動」を実施するほか、教科学習では実態に応じて他の学年の教材を使用することもあります。また、通常の学級の児童生徒と一緒に授業や行事を行う交流及び共同学習も行われています。特別支援学級や特別支援学校で安心して学べる環境整備は全国共通の教育課題であり、家庭の経済状況等に応じ特別支援教育就学奨励費(学用品費・給食費・修学旅行費等)が支給されます。

今年度、市内の特別支援学級は小学校16/18校 中学校8/8校に設置されています。鴻巣市では、在籍する147人(R5 11/1現在)の児童生徒が一人一人の教育的ニーズに応じた支援が受けられるよう特別支援教育指導員を配置するほか、放課後や夏休み等に自立に向けた訓練と居場所づくりを行う「こどもデイサービスセンター」を設置しています。これらの施策は、広く教育・福祉・医療・就労等にわたる第3次鴻巣市障がい者計画(令和3～8年度)等に位置付けられており、その策定に当たっては、児童生徒に限らず誰もが「地域で安心して生活しながら社会参加できるまち」を基本理念としています。

なお、通常の学級にも特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍しているとの指摘があります。文部科学省の調査によると、その推定値は平成24年が6.5%、令和4年が8.8%でした。調査対象地域や一部質問項目等が異なるため単純な比較はできませんが、10年間で2.3ポイントほど上昇しています。仮にこの数値を35人学級に当てはめてみると、学習面又は行動面で著しい困難を示す子どもが約3人在籍していることとなります。このことから、特別支援教育の視点(学びのUD化や合理的配慮の考え方等)は通常学級でも有効と考えられます。



## 11・12月の行事予定

月	日	曜	行事
11	9	木	Let's教室 調理実習
	15	水	花壇植え替え
	16	木	就学支援委員会④ 15:00
	30	木	まなびの教室 14:00
12	初旬		Let's教室 だいこん収穫
	6	水	教育相談担当者・さわやか相談員連絡会議②
	15	金	Let's教室 2学期終業式
	21	木	まなびの教室 14:00

※予定は、都合により変更になる場合があります。

4年ぶりの Let's教室 調理実習 11/9(木)

5月に植え付けたサツマイモは大豊作でした。お世話いただいた小野寺様に、心よりお礼申し上げます。「実りの秋」を満喫して、「熟成の冬」に向かっていきます。

切ったり煮たり大忙し！小学生も中学生も協力し合い、和やかなひと時を過ごしました。

蒸しパン・豚汁・リンゴのデザート・大学芋が完成！すべてサツマイモ入りです。